

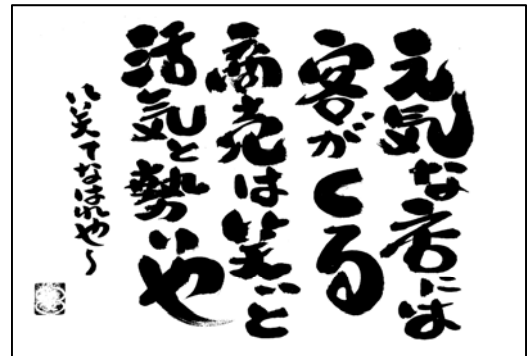
## 『遊書』を楽しむ

### 1. 「遊書」って、何？

右の写真の方は、楽笑と名乗る田中幸男さんです。大阪にあるBMWディーラー「タナカユキ」の会長をされています。私とこの方との出会いは、昨年5月頃でした。M社のNさんに、ご紹介を受けたのですが、初めは、よく理解できずにいて「相田みつおさんの類か？」とっていました。その訳は、「元気な店には客がくる 商売は笑いと活気と勢いや 笑てなはれや〜 楽笑」という「書」を見せて頂いたもので、そういう印象だったのです。



ところが、Nさんは、楽笑さんの「書」などをブランド化して販売しようと考えておられたのです。その為、私は、楽笑さんを理解する為に、自分のメルマガに毎回、楽笑さんの言葉を挿入するようにしたのです。(もちろん、Nさんが楽笑さんの許可を事前にとってくださったのです) 下記のように、楽笑さんのカレンダーを挿入したのです。



さて、今日の「楽笑カレンダー」には  
「女心と秋の空 男心は夏の空 いつもあんたは  
とあります。 <http://www.rakusho.co.jp/>

何回も挿入しているうちに、こういう書を「遊書」ということを知ったのです。日常性や書道という範疇から逸脱して、遊び心で楽しんで表現するという事を知ったのです。例えば、「元気な店には客がくる 商売は笑いと活気と勢いや 笑てなはれや〜」という言葉は、現実には直面して、生真面目に生きていても出て来ないメッセージと思います。きっと、楽笑さんが、ふと思いついた言葉なんだろうと推測するのです。こういうのが「遊書」と気がついたのです。

### 2. 「守、破、離」

右の書は、私がコンピュータのフォント(DFPクラフト墨W9)を使って、「得意淡然 失意泰然」という「訓」を作ってみたものです。確かに、きっちりとした書体ではないので、それなりの雰囲気が出ている感じがしますね。これは、コンピュータ文字なのですが一種の「人柄」を表現する感じがしています。



茶道の言葉に「守破離」というものがあります。何事も学ぶには、「守」・・・真似ることから始めて、何かを会得するまでやってみる  
「破」・・・何かを会得した瞬間に、思い切ってチェンジしてみる  
「離」・・・そのチェンジで、うまく行けば、自分流になる  
という3段階が必要なのです。

私は、「遊書」という域に身をゆだねる程、人間が磨かれていませませんが、これから、少しずつ「遊書」というものを取り入れて行き、今までにない才能みたいなものを引き出して行き、皆様にご披露して、お役に立てればと思っ

います。

### 3. 「楽笑」を学ぶ

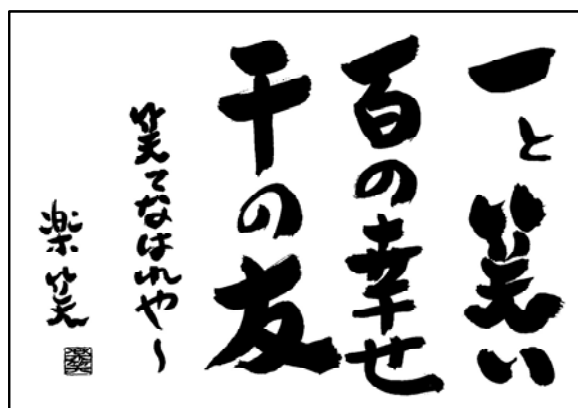
右の「遊書」は、楽笑さんの「夢 いつまでも夢をかたれる 情熱人間 楽笑」というものです。「夢」を真ん中に大きく書き赤い点を2つ書いて、独特の表現になっています。

別の楽笑さんの作品に「よい人生とは よい夢を もつ事から始まる」というものがありますが、「夢」というものを大事にされているのが伺えます。楽笑さんに伺うと「夢、笑、楽」の3文字がキーワードのようです。

「一と笑い 百の幸せ 千の友 笑てなはれや〜 楽笑」という「遊書」もご紹介しています。楽笑さんは、ホントに、「笑う」ということにこだわっておられることが伺えます。

「1回、笑うと100の幸せと1000の友がやってくるのだから、2回だと200でっせ〜、ほな、10回も笑ろたら、トンでもないことになりまんなあ」とおっしゃっています。

インドのヨガでも「笑う」という流派があるそうです。毎日、「わっははっ！わっははっ！わっははっ！」と腹の底から笑うのです。1回10分を1日に3回ほどするそうです。ちょっと笑うだけでもスッキリしますね。ホントに、笑うというエネルギーは凄いものがあります。

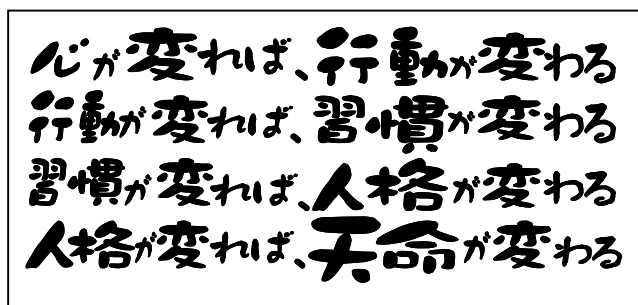


### 4. 「遊書」で楽しむ

今回、「得意淡然 失意泰然」という言葉をコンピュータで遊書風にデザインしてみました。本来は、楽笑さんのように、実際に筆で書くと、もっと味わいが出ると思うのですが、それでも、それなりの雰囲気が出ています。こういう表現をイメージするとホントに楽しいですね。これから、自分なりの遊書を楽しみたいと思います。時々、ご紹介したいと思いますので、ご期待くださいますようお願い申し上げます。

注：楽笑さんの遊書に関心をお持ちの方は、下記をクリックして、丸十MBA(株)のホームページをご参照になってください。AMIのメルマガで見たと記入されると割引して頂けます。

<http://www.maluju-mba.com/shop/index.html>



左は、私が「成功の方程式」と呼んでいる「訓」を遊書風にデザインしてみました。

人格は、評判ということで、何事もよいと信じる事を徹底すれば、人の評判が変わって、人生が変わるという意味です。(栩野)

【AMIニュースのバックログは<http://www.web-ami.com/siryo.html> でご覧になれます！】